

タットン会 通信

2005. 11. 19

今年度のタットン会は、独立行政法人福祉医療機構（障害者スポーツ支援基金）からの助成金交付も受けながら活動しています。より多くの方々と共に障がいに対する理解を深めていきたいと思っています。

- ◎ タットン会ホームページ <http://www.geocities.jp/tattonkai/>
- ◎ 日時・場所についての確認のみ → ボランティアセンター 046 (825) 0017

第39回目のタットン会は、追浜中・大津中・湘南学院の卓球部員やボランティアサークルのメンバーも参加して下さり、会を盛り上げてくれてとっても助かりました。

久しぶりに参加してくれた裕美さんが、1月に生まれた瞬君を連れて来てくれました。

瞬君は「タットン会の為に生まれてきた～」な～んて皆様の前で勝手に紹介してしまいました。（ごめんなさい）

実は母親である裕美お姉さん(ママ)は、4年前のタットン会の立ち上げの際（まだタットン会という名前は決まっていませんでした）の発足会(2002年1月)に集まって下さった12人のメンバーの一人です。

その時の裕美お姉さんは、黒のコートを格好良く着こなしていて、お仕事をお聞きすると「看護師」と。これは心強い仲間が来てくれたと大喜びした事を覚えています。それからというもの、裕美お姉さんがいてくれるだけで安心して会を進めていくことが出来、タットン会にとってはいわゆる女神様でした。

写真のように、仲間達も瞬君を大切にだっこし「命の大切さ」を肌で感じているようでした。これからも、瞬君がきてくれた時には、皆様よろしく御願いします。

また、体育館の外では、廊下で鬼ごっこ？を楽しんだりしている仲間もいます。始めは大勢いる体育館の雰囲気に慣れず、廊下やトイレでの遊びだけでした。しかし、参加回数を重ねることにより体育館の中に入ることも出来てきました。今は、どんなことが好きなのか摸索している最中です。タットン会が自分探しや興味の持てる事探しの場にもなれたら嬉しいです。



お子様記録カード・感想より 今日やったこと・気付いたこと

- ※1 前半はパワーを活かしてバシバシ打ちましたが、後半「やさしく真っ直ぐ返そう」とこえかけしたところ、やさしい球を返してくれて最高で22回続きました。様々な声かけを行なえば、こちらの要求を受け入れてくれるようでした。(Y・Aさん)
- ※2 はじめはバドミントンの列に並んでいたのですが、卓球に変更しました。ラケットの扱いも難しいので風船バレーをやってみました。風船の動きはよく追うことが出来ます。運動の供応性に配慮しながらのスポーツから入った方が良いような気がします。とにかく好きなものを続けられたらと感じました。赤ちゃんと遊んでいる時・ナイスプレーの時の笑顔がとても素敵でした。(T・Wさん)

障がい児者の

進路と余暇を考える

パート2

— タットン会よ、永遠なれ —

障害をもつ子どもが自ら余暇の過ごし方を見つけることは容易ではありません。家での余暇の過ごし方はそれぞれの家庭で自然にスタイルが決まってくると思いますが、家から外に出かけて仲間と一緒に楽しむ余暇は実際に体験してみなければわからない。体験してみて、すぐに楽しいと感じる場合もあるでしょうし、最初は馴染めなかつたのがだんだん好きになっていくという場合もあるようです。どちらにせよ親や先生が初めのとっかかりをつけ、好きかどうか、続けるかどうかをみきわめていくことになります。

そうして好きな余暇をみつけられたらうれしいことです。あとは、それを継続していくために、出かける先の環境が整っていること、親が一緒に出向く時間を作ること（ヘルパー事業を利用することも可能ですが）が必要です。

幸いなことに我が子は、タットン会でバドミントンや卓球を楽しむという時間を見つけることができました。普通級か特殊学級か、どこの学校に行くかと悩みながら選択してきた学校では確かに多くのものを学び、多くの時間をそこで過ごしてきました。しかし、学校は人生のうちの十数年でしかありません。でも余暇は、せっかくみつけた余暇は、「一生もの」です。そして、すでに我が子の生活の一部となっているタットン会なのです。タットン会に行ったら、いつものスポーツができる！そこに行ったらいつものみんなに会える!!

保護者（K様）

第40回タットン会 ~ 本日 11月19日の流れ 於 サブアリーナ

9:00～ 準備・受付

9:30 本日の説明 ペアになって、カード読み・聞き取り 自己紹介・握手をしよう！
体操（ディズニー or ラジオ体操）、各種目へ（持続回数に挑戦など）

10:20 休憩

10:40～ 後半の部開始 試合を意識して！

11:10頃 パラシュート みんなで一緒に！

11:20頃 片づけ・モップ、集合隊形に
(手話コーナー)・けがの確認

11:40頃 (研修会) その後解散です！

お知らせ

※ ご一緒に楽しんで下さる事務局
ボランティアさんは、いつでも募集中です！

※ 前回配布できなかつた神奈川県社協の福祉
タイムスを今度こそ配布いたします。

※ 卓球ラケット・バドミントンラケットを
それぞれ10本助成金から購入させて頂きました。

※ 次回12月17日は、第4回タットン大会です。

場所は県立保健福祉大学です。みんなで賞品をゲットしよう！！



《 4年目 2005年度の活動予定 》

11月19日(土)	サブアリーナ本日 (研修会4資料編)	2005年 1月28日	県立保健福祉大学決定
12月17日(土)	県立保健福祉大決定 (第4回タットン大会)	2月18日又は25日	未定

3月18日又は25日 未定

タットン かず

« 研修会資料 4 »

『～こんな時どうしよう！？編』

タットン会には、毎回違ったメンバーが集って来ます。ボランティアさんが少ない時があり、お子様達が少ない時があつたりと様々です。

そこで、「タットン会の中で困った時は、こうしていこう！！」というものがあれば、少しは気が楽になるのかな？と思い提案してみようと思いました。

1. 『良くない行動をとることで、人に注意を引く行為』の子に対しての対応

① 2005年7月の36回目のタットン会（県立保健福祉大学）に初参加した時は、非常ベルを押したり、トイレの水に執着していたが、場所が変わり次回9月のサブアリーナからそれは無くなった。

※1 『水は1回、ベルはダメ（×）』などの絵カードを示すことも有効と思われる。

つば吐き登場

しかしそのかわり、つば吐きが登場した。

② 参加から3回目10月、再び県立保健福祉大学。そこでは、水遊び・非常ベルはなかったが、つば吐きとトイレ前廊下にて股間を見せ小便を少ししてしまった。

※1 コミュニケーションをとろうとしその子に目を見て語りかけるとつばを吐くので、語りかけた後、目を合わせないようにする。

※2 つばを吐いたときには自分で拭かせるように手を添えて拭かせてやり、出来たら『良くできたね』と褒めてやる。

※3 追いかけると逃げてしまうので、追いかけない。ただし、その後に寄ってきたら短く会話をし、その後の行動を何気なく観察する。

－ などなど、他にも対応策を考えて、みんなで共有していきましょう！